

官報號外 昭和十六年十一月二十日

○第七十七回 衆議院議事速記録第四號

昭和十六年十一月十九日(水曜日)

午後一時四十五分開議

議事日程 第三號

昭和十六年十一月十九日

午後一時開議

第一 昭和十六年勅令第九百二十三號

(昭和十四年法律第一號兵役法中改
正法律中改正ノ件)(承諾ヲ求ムル件)

(貴族院送付)

第二 臨時郵便取締令(承諾ヲ求ムル
件)(貴族院送付)

(左ノ報告ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノ爲
茲ニ掲載ス)

一議員ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ
農業團體ノ統合促進ニ關スル建議案

提出者

高田 耘平君

青山 売三君

石坂 養平君

岡本實太郎君

森田 重次郎君

北勝太郎君

小笠原 八十美君

菊地養之輔君

助川啓四郎君

山田 謙一君

森田 重次郎君

泉 國三郎君
菊地養之輔君
助川啓四郎君
森田 重次郎君
(以上十一月十八日提出)

一昨十八日貴族院ニ於テ本院ノ送付ニ係ル
(臨第一號)臨時軍事費豫算追加案

一昨十八日東條内閣總理大臣ヨリ左ノ通發
令アリタル旨ノ通牒ヲ受領セリ

○議長(小山松臺君) 是ヨリ會議ヲ閉キマ
ス、日程第一昭和十六年勅令第九百二十三
號、承諾ヲ求ムル件ヲ議題ト致シマス——東
條陸軍大臣

勅令第九百二十三號
(昭和十四年法律第一號中左ノ通改正ス
附則第四項ヲ削ル)

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

附則

勅令第九百二十三號
(昭和十四年法律第一號中左ノ通改正ス
附則第四項ヲ削ル)

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス</

(國務大臣東條英機君登壇)

○國務大臣東條英機君(案) 去ル十月十六日

公布ニ相成リマシタ兵役法中改正法律ノ改正ニ關スル緊急勅令ノ制定理由ニ付キマシテ申述ベタイト存ジマス

緊迫セル時局ノ要請ニ即應致シマスル爲ニ先般大學學部専門學校等ノ在學年限又ハ

修業年限ヲ臨時ニ短縮セラレルコトトナツ

タ次第デアリマスガ、此ノ短縮ノ趣旨ニ副フ爲ニハ、學生生徒ノ徵兵検査及ビ入營等ニ關シマシテモ、卒業ニ引續キ入營シ得ル如ク特別ノ取計ラヒヲ要スルモノト存ジマス、即チ本年十二月卒業豫定ノ學生生徒ニ付キマシテハ、本年十二月中旬マニ徵

兵検査ヲ行ヒ、又明年二月入營セシムル如ク取計ラヒヲ致シテ居リマス、而シテ右ノ如ク徵集延期中ノ學生生徒ニ對シマシテ、卒業ニ引續キ入營サセマスル爲ニハ、現行兵役法施行令第一條第二項ノ規定ニ依リ在學徵集延期ノ期間ヲ短縮ラシ、在學中ニ其ノ期間ガ満了スル如ク致セバ宜シイノデアリ

マス、然ルニ現在ノ第三學年以上ニ在學致シテ居リマスル所ノ學生生徒、言葉ヲ換ヘテ申シマスナラバ、此ノ度徵兵検査ヲ受ケサセヨウツル所ノ學生生徒ニ付キマシテハ、昭和十四年法律第一號附則第四項ノ規定ニ依リマシテ、其ノ徵集延期ハ尙ホ從前ノ例ニ依ルコトトセラレテ居リマスルノミナラズ、舊法ニハ在學徵集延期期間短縮ニ關スル規定ハ全ク存在シナカツタノデアリマスルカラ、此ノ種學生ニ對シマシテ在學

中ニ徵集手續ヲ行ヒ、卒業ニ引續キ入營セ

シメ得ルヤウニ致ス爲ニハ、先づ以チマシテ此ノ種學生ニ對シマスル右附則第四項ノ適用ヲ廢止セネバナラスノデアリマス、而モ本年十二月徵兵検査ヲ行ヒマスル爲

ハ、徵集手續ハ遲クモ十月ニハ之ヲ開始セ

ネバナラスノデアリマス、隨ヒマシテ之ニ

關スル法律ノ改正ハ、當時次期帝國議會ノ開會ヲ待ツノ邊ガナカツタ次第デアリマス、

本緊急勅令ノ御裁可ヲ仰ギマシタ理由ハ以上ノ通りデゴザイマス、何卒御審議ノ上速

カニ承諾ヲ與ヘラレントラ希望致シマス

(拍手)

○議長(小山松壽君) 本件ノ審査ヲ付託ス

ベキ委員ノ選舉ニ付テ御詰り致シマス

○依光好秋君 本案ハ議長指名二十七名ノ委員ニ付託シ、直チニ審議ヲ進メラレンコトヲ望ミマス

○議長(小山松壽君) 依光君ノ動議ニ御異議アリマス

トヲ望ミマス

〔「異議ナシ」ト呼ブ者アリ〕

○議長(小山松壽君) 依光君ノ動議ニ御異議アリマス

トヲ望ミマス

〔書記官朗讀〕

昭和十六年勅令第九百二十三號委員

伊藤東一郎君 淺沼稻次郎君

今成留之助君 小山田義孝君

大島寅吉君 川崎巳之太郎君

川副隆君 川俣清音君

川副川副

内閣總理大臣

國務大臣

陸軍大臣

小泉純也君

坂本宗太郎君

末松脩一郎君

國務大臣

農林大臣

鈴木貞一

井野碩哉

左近司政三

厚生大臣

岩村通世

商工大臣

江藤源九郎君

最上政三君

吉田賢一君

鈴木文治君

宮澤裕君

松尾孝之君

米澤滿亮君

坂本宗太郎君

末松脩一郎君

國務大臣

農林大臣

鈴木貞一

井野碩哉

左近司政三

厚生大臣

岩村通世

商工大臣

江藤源九郎君

最上政三君

吉田賢一君

鈴木文治君

宮澤裕君

松尾孝之君

米澤滿亮君

外務大臣兼拓務大臣

豐田貞次郎

庄司一郎君

國務大臣

鈴木貞一

野方治介君

農林大臣

井野碩哉

中野治介君

商工大臣

左近司政三

三木武夫君

厚生大臣

小泉親彦

司法大臣

岩村通世

内務大臣

陸軍大臣

公爵近衛文麿

國務大臣

男爵平沼駿一郎

内務大臣

田邊治通

内務大臣

鐵道大臣

橋田邦彦

外務大臣兼拓務大臣

豐田貞次郎

庄司一郎君

國務大臣

鈴木貞一

野方治介君

農林大臣

井野碩哉

中野治介君

商工大臣

左近司政三

三木武夫君

厚生大臣

小泉親彦

司法大臣

岩村通世

内務大臣

陸軍大臣

公爵近衛文麿

國務大臣

男爵平沼駿一郎

内務大臣

田邊治通

内務大臣

鐵道大臣

橋田邦彦

外務大臣兼拓務大臣

豐田貞次郎

庄司一郎君

國務大臣

鈴木貞一

野方治介君

農林大臣

井野碩哉

中野治介君

商工大臣

左近司政三

三木武夫君

厚生大臣

小泉親彦

司法大臣

岩村通世

内務大臣

陸軍大臣

公爵近衛文麿

國務大臣

男爵平沼駿一郎

内務大臣

田邊治通

内務大臣

鐵道大臣

橋田邦彦

第三條 遣信大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ノ差出人又ハ受取人ヲシテ本ヲ除ク

令ニ依ル郵便取締上必要ナル證明、記載其ノ他ノ行爲ヲ爲サシムルコトヲ得

第四條 遷信大臣ハ檢閱ニ付シタル郵便物ニシテ國防上ノ利益ヲ害シ若ハ害スル虞アリト認メラルモノ又ハ記載事項ノ内容明ナラザルモノ送達ヲ停止スルコトヲ得

第五條 第一條ノ規定ニ依ル郵便物差出ノ禁止又ハ制限ニ違反シタル者ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス第三條ノ規定ニ基キテ發スル命令ニ違反シ虚偽ノ申立ヲ爲シタル者亦同ジ

第六條 本令ニ依ル郵便取締ノ事務ニ從事シ又ハ從事シタル者其ノ職務執行ニ關シ知得シタル信書ノ祕密ヲ漏泄シタルトキハ二年以下ノ懲役又ハ二千圓以下ノ罰金ニ處ス

前項ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス

第七條 本令中遷信大臣トアルハ朝鮮ニ在リテハ朝鮮總督、臺灣ニ在リテハ臺灣總督、關東州ニ在リテハ滿洲國駐劄特命全權大使、樺太ニ在リテハ樺太廳長官、南洋群島ニ在リテハ南洋廳長官トス

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス
〔國務大臣寺島健君登壇〕

○國務大臣(寺島健君) 只今上程セラレマ
タ臨時郵便取締令ニ對シ、帝國議會ノ承諾求ムル件ニ付キマシテ、其ノ提案ノ理由禁壓致シマスルト共ニ、國防上祕匿ヲ要

シマスル事項ガ、不用意ノ裡ニ海外ニ漏泄セラルコトナキヤウ、取締ヲ嚴重ニセネバナラナイコトハ申スマデモナイノデアリマシテ、是ガ爲ニハ通信ノ取締ヲ徹底的ニ行フコトガ特ニ肝要デアルト存ジマス、電信及び電話ニ關シマシテハ、既ニ現行法令ニ取締上必要ナル規定ガ設ケラレテアリマスルガ、郵便ニ關シマシテハ、現行郵便法上十分ナル規定ガ設ケラレテナカツタノデアリマス、然ルニ最近國際情勢ガ著シク緊迫致シマスルニ連レマシテ、外國諜報網ノ暗躍ガ一段ト活潑化致シマスコトハ、想像ニ難クナイト存ズルノデアリマシテ、之ニ對シ此ノ際斷乎タル對策ヲ講ジ、今後起り得ル凡ニユル事態ノ變化ニ應ジ、有效適切ナル郵便取締ヲ實施致シマスル緊急ノ必要ニ基キマシテ、過般憲法第八條ニ依ル勅令トシテ、構人員ヲ整備致シマシテ、時代ノ推移ニ即臨時郵便取締令ノ制定ヲ仰イダ次第アリマス、政府ニ於キマシテハ、之ガ所要ノ機会シテ、緊急勅令タル臨時郵便取締令ヲ議會ニ提出シ、其ノ承諾ヲ求ムル次第デスガ、茲ニ憲法第八條第二項ノ定ムル所ニ從ヒマシテ、緊急勅令タル臨時郵便取締令ヲ議長(小山松壽君)本件ノ審査ヲ付託スベキ委員ノ選舉ニ付テ御諮リ致シマス

○議長（小山松壽君） 依光君ノ勧議ニ御異議アリマセヌカ
〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○議長（小山松壽君） 御異議ナシト認メマス、仍テ勧議ノ如ク決シマシタ

○依光好秋君 議事日程追加ノ緊急動議ヲ提出致シマス、即チ此ノ際第一號、昭和十六年度歳入歳出總豫算追加案、特第一號、昭和十六年度各特別會計歳入歳出豫算追加案及ビ追第一號、豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲スヲ要スル件ノ三案ヲ一括議題トナシ、委員長ノ報告ヲ求メ、其ノ審議ヲ進メラレントヲ望ミマス

○議長（小山松壽君） 依光君ノ勧議ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○議長（小山松壽君） 御異議ナシト認メマス、仍テ日程ハ追加セラレマシタ——第一號、昭和十六年度歳入歳出總豫算追加案、特第一號、昭和十六年度各特別會計歳入歳出豫算追加案、追第一號、豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲スヲ要スル件、右三件ヲ一括シテ議題ト致シマス、豫算委員長ノ報告ヲ求メマス——豫算委員長東郷實君追加案

（第一號）昭和十六年度歳入歳出總豫算追加案

（特第一號）昭和十六年度各特別會計歳入歳出豫算追加案

（追第一號）豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲スヲ要スル件

報告書
一(第一號)昭和十六年度歲入歲出總豫算追加案
右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致
候此段及報告候也
昭和十六年十一月十九日
豫算委員長 東郷 實
衆議院議長小山松壽殿
報告書
一(特第一號)昭和十六年度各特別會計歲
入歲出豫算追加案
右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致
候此段及報告候也
昭和十六年十一月十九日
豫算委員長 東郷 實
衆議院議長小山松壽殿
報告書
一(追第一號)豫算外國庫ノ負擔トナルベ
キ契約ヲ爲スヲ要スル件
右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致
候此段及報告候也
昭和十六年十一月十九日
豫算委員長 東郷 實
衆議院議長小山松壽殿
〔東郷實君登壇〕
○東郷實君 只今議題トナリマシタ昭和十
六年度歲入歲出總豫算追加第一號、同各特
別歲入歲出豫算追加第一號及ビ豫算外國
庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲スヲ要スル件
付キ、豫算委員會ニ於ケル審査ノ經過並

Page 1 of 1

ヲ奏請シタノモ其ノ爲デアリ、今後ト雖モ必要ニ應ジテ臨時議會ノ召集ヲ御願ヒスルコトガアルカモ知レス旨ノ答辯ガゴザイマシタ

最後ニ、此ノ緊迫セル時局下即チ今日ハ戰爭ノ前夜トモ云フ感ジガスルガ、之ニ付テハ陸海軍トモ萬全ノ準備が出來テ居ルト思フガ、此ノ點ニ付キ國民ガ安心シ得ルヤウナ陸海軍大臣ノ言明ヲ得タイ旨ノ發言ガ

テツタノニ對シマシテ、陸軍大臣ヨリハ、今後事態ノ如何ナル變化ニ對シマシテモ、陸軍トシテハ之ニ十分應ゼラレルダケノ準備ガアル、此ノ點ニ付テハ全國國民ハ全然御安心ヲ願ヒタイトノ言明ガアリマシタ（拍手）又海軍大臣ヨリモ、海軍モ萬般ノ準備ヲ整ヘテ居ル旨ノ力強キ答辯ガアツタコトヲ、特ニ茲ニ御報告申上ゲテ置キマス（拍手）其ノ他外交問題、食糧増産ノ問題等、重要ナ質疑應答ガ行ハレタノデゴザイマス

ト存ジマス
委員會ハ昨夜深更ニ至リ質疑ヲ終了致シマシテ、本日午前十一時ヨリ開會、討論ニ入りマシテ、翼賛議員同盟ヲ代表シ小笠原三九郎君、同交會ヲ代表シテ石坂豊一君、興亞議員同盟ヲ代表シテ西岡竹次郎君ヨリ、各々賛成ノ旨ノ發言ガアリマシタ、採決ノ結果三案共ニ全會一致ヲ以テ原案ノ通り可決致シタ次第アリマス

ハ内外ノ情勢洵ニ緊迫セル重大時局ニ當面シテ閉會セラレマシタ所謂歴史的ノ議會アリマス、隨テ豫算委員會ニ於ケル議事モ

極メテ緊張ノ裡ニ進メラレタノデアリマス、即チ政府モ委員會モ互ニ胸襟ヲ開キ、相携ヘ、相協力シテ重要國務ノ審議ニ當リ、政府ハ此ノ重大時局ヲ突破スペク帝國不動ノ

決意ヲ示サレ、委員會モ亦此ノ難局ヲ克服スベキ牢固タル國民的決意ヲ表明致シタノ

デアリマス、即チ政府モ委員會モ共ニ渾然一體トナツテ、難局ノ打開ニ邁進スペク最善ノ努力ヲ傾倒シ、極メテ短期間ノ中ニ委員會ノ議事ヲ終了スルコトヲ得マシタノデアリマス、茲ニ豫算委員會ニ現ハレマシタ眞劍ナル情景ヲ御紹介申上ゲルコトハ私ノ最モ光榮トスル所デアリマス（拍手）此ノ段御報告申上ダマス（拍手）

○議長（小山松壽君）是ヨリ討論ニ入りマス、通告順ニ依ツテ發言ヲ許シマス——宮澤胤勇君（宮澤胤勇君登壇）
○議長（小山松壽君）豫算各案ニ付キマシテ、翼賛議員同盟ヲ代表シテ委員長報告ハ何レモ可決デアリマス、三案ヲ一括シテ委員長報告ノ通り決スルニ賛成ノ諸君ノ起立ヲ求メマス

○議長（小山松壽君）（拍手起立）
○議長（小山松壽君）仍テ三案トモ委員長報告ノ通り、全會一致可決確定致シマシタ（拍手）

○依光好秋君 議事日程追加ノ緊急動議ヲ提出致シマス、即チ此ノ際政府提出、酒稅等ノ増徵等ニ關スル法律案、昭和十二年法律第八十四號中改正法律案及ビ昭和十三年法律第二十三號中改正法律案ノ三案ヲ一括議題トナシ、委員長ノ報告ヲ求メ、其ノ審議ヲ進メラレンコトヲ望ミマス

○議長（小山松壽君）依光君ノ動議御異議アリマセヌカ

○議長（小山松壽君）（拍手）

第一讀會ノ續（委員長報告）

衆議院議長小山松壽殿

委員長 櫻井兵五郎

第一讀會ノ續（委員長報告）

衆議院議

案(支那事變ニ關スル臨時軍事費支辨ノ爲公債發行ニ關スル件)(政府提出)右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告候也

昭和十六年十一月十九日

委員長 櫻井兵五郎

衆議院議長小山松壽殿

報告書

一昭和十三年法律第二十三號中改正法律案(關東局、朝鮮總督府、臺灣總督府及樺太廳ノ各特別會計ニ於ケル租稅收入ノ一部ニ相當スル金額等ヲ臨時軍事費特別會計ニ繰入ルルコトニ關スル件)(政府提出)

右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告候也

昭和十六年十一月十九日

委員長 櫻井兵五郎

衆議院議長小山松壽殿

(議長退席、副議長着席)

(櫻井兵五郎君登壇)

○櫻井兵五郎君 只今議題トナリマシタ酒

稅等ノ増徴等ニ關スル法律案外二件ニ付キ

マシテ、委員會ノ經過並ニ結果ヲ御報告申上ゲマス

本委員會ハ一昨十七日成立致シマシテ直チニ審議ニ入り、十七、十八、十九日ノ三回ニ亘リ質疑應答ヲ重ねタノアリマス、先づ案ノ概要デアリマスガ、第一ハ酒稅等ノ増徴等ニ關スル法律案デアリマシテ、政

府ハ現下ノ經濟情勢ニ照ラシ購買力ノ吸收、消費ノ抑制ヲ圖ルト共ニ、臨時軍事費追加

豫算ノ財源ノ一部ニ充當スル爲メ、酒稅、遊興飲食稅其ノ他ノ間接稅ヲ中心トスル增徴ヲ行ハントスルモノデアリマシテ、是カ為メ酒稅法其ノ他ヲ改正シ、且ツ遊興飲食稅、入場稅ノ増徴ニ伴ヒ、配付稅分與割合ヲ改正スル爲メ、地方分與稅法ヲモ改正セン

トスルノデアリマス、而シテ是ガ結果ト致シマシテ、今次ノ増稅ハ平年度ニ於テ酒稅

ノ增加一億五千二百二十餘万圓、清涼飲料

稅ノ增加四百四十餘万圓、砂糖消費稅ノ增

加二千九百五十餘萬圓、物品稅ノ增加一億

三千四百十餘萬圓、遊興飲食稅ノ增加二億

三千五百餘萬圓、通行稅ノ增加四千九百餘

萬圓、入場稅ノ增加二千七百五十餘萬圓、

建築稅ノ增加八十餘萬圓……

(發言スル者多シ)

○副議長(田子一民君) 静肅ニ願ヒマス

○櫻井兵五郎君(續) 骨牌稅ノ增加百二十

餘萬圓、印紙稅ノ增加百七十餘萬圓、即チ

合計六億三千五百九拾餘萬圓ノ國庫收入ノ

增加ヲ見ルモノデアリマス

案ノ内容ニ付キマシテハ大藏大臣ヨリ詳

細ナル説明ガアリマシテ、引續キ質疑ニ入ツ

タノデアリマス、質疑ノ第一點ト致シマ

シテハ、財政ノ根幹問題デアリマシテ、即

チ我ガ財政ノ將來ハ益處出ノ增大ヲ見透シ

得ルノデアツテ、隨テ其ノ根本方針ニ付テ

ハ深キ考慮ヲ要スルモノガアル、政府ハ財

政ノ健全性ヲ保持スルガ爲ニ、或ハ歲入ヲ

増徴等ニ關スル法律案デアリマシテ、政

府ハ現下ノ經濟情勢ニ照ラシ購買力ノ吸收、

消費ノ抑制ヲ圖ルト共ニ、臨時軍事費追加

カドウカ、又更ニ此ノ度ノ增稅ハ間接稅ニ

於テ減

豫算ノ財源ノ一部ニ充當スル爲メ、酒稅、遊興飲食稅其ノ他ノ間接稅ヲ中心トスル增徴ヲ行ハントスルモノデアリマシテ、是カ為メ酒稅法其ノ他ヲ改正シ、且ツ遊興飲食稅、入場稅ノ増徴ニ伴ヒ、配付稅分與割合ヲ改正スル爲メ、地方分與稅法ヲモ改正セン

トスルノデアリマス、而シテ是ガ結果ト致シマシテ、今次ノ増稅ハ平年度ニ於テ酒稅

ノ增加一億五千二百二十餘万圓、清涼飲料

稅ノ增加四百四十餘万圓、砂糖消費稅ノ增

加二千九百五十餘萬圓、物品稅ノ增加一億

三千四百十餘萬圓、遊興飲食稅ノ增加二億

三千五百餘萬圓、通行稅ノ增加四千九百餘

萬圓、入場稅ノ增加二千七百五十餘萬圓、

建築稅ノ增加八十餘萬圓……

(發言スル者多シ)

○副議長(田子一民君) 静肅ニ願ヒマス

○櫻井兵五郎君(續) 骨牌稅ノ增加百二十

餘萬圓、印紙稅ノ增加百七十餘萬圓、即チ

合計六億三千五百九拾餘萬圓ノ國庫收入ノ

增加ヲ見ルモノデアリマス

案ノ内容ニ付キマシテハ大藏大臣ヨリ詳

細ナル説明ガアリマシテ、引續キ質疑ニ入ツ

タノデアリマス、質疑ノ第一點ト致シマ

シテハ、財政ノ根幹問題デアリマシテ、即

チ我ガ財政ノ將來ハ益處出ノ增大ヲ見透シ

得ルノデアツテ、隨テ其ノ根本方針ニ付テ

ハ深キ考慮ヲ要スルモノガアル、政府ハ財

政ノ健全性ヲ保持スルガ爲ニ、或ハ歲入ヲ

増徴等ニ關スル法律案デアリマシテ、政

府ハ現下ノ經濟情勢ニ照ラシ購買力ノ吸收、

消費ノ抑制ヲ圖ルト共ニ、臨時軍事費追加

カドウカ、又更ニ此ノ度ノ增稅ハ間接稅ニ

於テ減

豫算ノ財源ノ一部ニ充當スル爲メ、酒稅、

遊興飲食稅其ノ他ノ間接稅ヲ中心トスル增

徴ヲ行ハントスルモノデアリマシテ、是カ

為メ酒稅法其ノ他ヲ改正シ、且ツ遊興飲食

稅、入場稅ノ増徴ニ伴ヒ、配付稅分與割合

ヲ改正スル爲メ、地方分與稅法ヲモ改正セン

トスルノデアリマス、而シテ是ガ結果ト致シマシテ、今次ノ増稅ハ平年度ニ於テ酒稅

ノ增加一億五千二百二十餘万圓、清涼飲料

稅ノ增加四百四十餘万圓、砂糖消費稅ノ增

加二千九百五十餘萬圓、物品稅ノ增加一億

三千四百十餘萬圓、遊興飲食稅ノ增加二億

三千五百餘萬圓、通行稅ノ增加四千九百餘

萬圓、入場稅ノ增加二千七百五十餘萬圓、

建築稅ノ增加八十餘萬圓……

(發言スル者多シ)

○副議長(田子一民君) 静肅ニ願ヒマス

○櫻井兵五郎君(續) 骨牌稅ノ增加百二十

餘萬圓、印紙稅ノ增加百七十餘萬圓、即チ

合計六億三千五百九拾餘萬圓ノ國庫收入ノ

增加ヲ見ルモノデアリマス

案ノ内容ニ付キマシテハ大藏大臣ヨリ詳

細ナル説明ガアリマシテ、引續キ質疑ニ入ツ

タノデアリマス、質疑ノ第一點ト致シマ

シテハ、財政ノ根幹問題デアリマシテ、即

チ我ガ財政ノ將來ハ益處出ノ增大ヲ見透シ

得ルノデアツテ、隨テ其ノ根本方針ニ付テ

ハ深キ考慮ヲ要スルモノガアル、政府ハ財

政ノ健全性ヲ保持スルガ爲ニ、或ハ歲入ヲ

増徴等ニ關スル法律案デアリマシテ、政

府ハ現下ノ經濟情勢ニ照ラシ購買力ノ吸收、

消費ノ抑制ヲ圖ルト共ニ、臨時軍事費追加

カドウカ、又更ニ此ノ度ノ增稅ハ間接稅ニ

於テ減

豫算ノ財源ノ一部ニ充當スル爲メ、酒稅、

遊興飲食稅其ノ他ノ間接稅ヲ中心トスル增

徴ヲ行ハントスルモノデアリマシテ、是カ

為メ酒稅法其ノ他ヲ改正シ、且ツ遊興飲食

稅、入場稅ノ増徴ニ伴ヒ、配付稅分與割合

ヲ改正スル爲メ、地方分與稅法ヲモ改正セン

トスルノデアリマス、而シテ是ガ結果ト致シマシテ、今次ノ増稅ハ平年度ニ於テ酒稅

ノ增加一億五千二百二十餘万圓、清涼飲料

稅ノ增加四百四十餘万圓、砂糖消費稅ノ增

加二千九百五十餘萬圓、物品稅ノ增加一億

三千四百十餘萬圓、遊興飲食稅ノ增加二億

三千五百餘萬圓、通行稅ノ增加四千九百餘

萬圓、入場稅ノ增加二千七百五十餘萬圓、

建築稅ノ增加八十餘萬圓……

(發言スル者多シ)

○副議長(田子一民君) 静肅ニ願ヒマス

○櫻井兵五郎君(續) 骨牌稅ノ增加百二十

餘萬圓、印紙稅ノ增加百七十餘萬圓、即チ

合計六億三千五百九拾餘萬圓ノ國庫收入ノ

增加ヲ見ルモノデアリマス

案ノ内容ニ付キマシテハ大藏大臣ヨリ詳

細ナル説明ガアリマシテ、引續キ質疑ニ入ツ

タノデアリマス、質疑ノ第一點ト致シマ

シテハ、財政ノ根幹問題デアリマシテ、即

チ我ガ財政ノ將來ハ益處出ノ增大ヲ見透シ

得ルノデアツテ、隨テ其ノ根本方針ニ付テ

ハ深キ考慮ヲ要スルモノガアル、政府ハ財

政ノ健全性ヲ保持スルガ爲ニ、或ハ歲入ヲ

増徴等ニ關スル法律案デアリマシテ、政

府ハ現下ノ經濟情勢ニ照ラシ購買力ノ吸收、

消費ノ抑制ヲ圖ルト共ニ、臨時軍事費追加

カドウカ、又更ニ此ノ度ノ增稅ハ間接稅ニ

於テ減

豫算ノ財源ノ一部ニ充當スル爲メ、酒稅、

遊興飲食稅其ノ他ノ間接稅ヲ中心トスル增

徴ヲ行ハントスルモノデアリマシテ、是カ

為メ酒稅法其ノ他ヲ改正シ、且ツ遊興飲食

稅、入場稅ノ増徴ニ伴ヒ、配付稅分與割合

ヲ改正スル爲メ、地方分與稅法ヲモ改正セン

トスルノデアリマス、而シテ是ガ結果ト致シマシテ、今次ノ増稅ハ平年度ニ於テ酒稅

ノ增加一億五千二百二十餘万圓、清涼飲料

稅ノ增加四百四十餘万圓、砂糖消費稅ノ增

加二千九百五十餘萬圓、物品稅ノ增加一億

三千四百十餘萬圓、遊興飲食稅ノ增加二億

三千五百餘萬圓、通行稅ノ增加四千九百餘

萬圓、入場稅ノ增加二千七百五十餘萬圓、

建築稅ノ增加八十餘萬圓……

(發言スル者多シ)

○副議長(田子一民君) 静肅ニ願ヒマス

○櫻井兵五郎君(續) 骨牌稅ノ增加百二十

餘萬圓、印紙稅ノ增加百七十餘萬圓、即チ

合計六億三千五百九拾餘萬圓ノ國庫收入ノ

增加ヲ見ルモノデアリマス

案ノ内容ニ付キマシテハ大藏大臣ヨリ詳

細ナル説明ガアリマシテ、引續キ質疑ニ入ツ

タノデアリマス、質疑ノ第一點ト致シマ

シテハ、財政ノ根幹問題デアリマシテ、即

チ我ガ財政ノ將來ハ益處出ノ增大ヲ見透シ

得ルノデアツテ、隨テ其ノ根本方針ニ付テ

ハ深キ考慮ヲ要スルモノガアル、政府ハ財

政ノ健全性ヲ保持スルガ爲ニ、或ハ歲入ヲ

増徴等ニ關スル法律案デアリマシテ、政

府ハ現下ノ經濟情勢ニ照ラシ購買力ノ吸收、

消費ノ抑制ヲ圖ルト共ニ、臨時軍事費追加

カドウカ、又更ニ此ノ度ノ增稅ハ間接稅ニ

於テ減

豫算ノ財源ノ一部ニ充當スル爲メ、酒稅、

遊興飲食稅其ノ他ノ間接稅ヲ中心トスル增

徴ヲ行ハントスルモノデアリマシテ、是カ

為メ酒稅法其ノ他ヲ改正シ、且ツ遊興飲食

稅、入場稅ノ増徴ニ伴ヒ、配付稅分與割合

ヲ改正スル爲メ、地方分與稅法ヲモ改正セン

トスルノデアリマス、而シテ是ガ結果ト致シマシテ、今次ノ増稅ハ平年度ニ於テ酒稅

ノ增加一億五千二百二十餘万圓、清涼飲料

稅ノ增加四百四十餘万圓、砂糖消費稅ノ增

加二千九百五十餘萬圓、物品稅ノ增加一億

三千四百十餘萬圓、遊興飲食稅ノ增加二億

三千五百餘萬圓、通行稅ノ增加四千九百餘

萬圓、入場稅ノ增加二千七百五十餘萬圓、

建築稅ノ增加八十餘萬圓……

(發言スル者多シ)

○副議長(田子一民君) 静肅ニ願ヒマス

○櫻井兵五郎君(續) 骨牌稅ノ增加百二十

餘萬圓、印紙稅ノ增加百七十餘萬圓、即チ

合計六億三千五百九拾餘萬圓ノ國庫收入ノ

增加ヲ見ルモノデアリマス

案ノ内容ニ付キマシテハ大藏大臣ヨリ詳

細ナル説明ガアリマシテ、引續キ質疑ニ入ツ

タノデアリマス、質疑ノ第一點ト致シマ

シテハ、財政ノ根幹問題デアリマシテ、即

チ我ガ財政ノ將來ハ益處出ノ增大ヲ見透シ

得ルノデアツテ、隨テ其ノ根本方針ニ付テ

ハ深キ考慮ヲ要スルモノガアル、政府ハ財

政ノ健全性ヲ保持スルガ爲ニ、或ハ歲入ヲ

増徴等ニ關スル法律案デアリマシテ、政

府ハ現下ノ經濟情勢ニ照ラシ購買力ノ吸收、

消費ノ抑制ヲ圖ルト共ニ、臨時軍事費追加

カドウカ、又更ニ此ノ度ノ增稅ハ間接稅ニ

於テ減

豫算ノ財源ノ一部ニ充當スル爲メ、酒稅、

遊興飲食稅其ノ他ノ間接稅ヲ中心トスル增

徴ヲ行ハントスル

少スルガ如キコトハ豫期シテ居ラスト云フ
意味ノ答辯ガアリマシタ、其ノ他酒税、鐵道運賃、通行税、遊興飲食税、建築税、印紙税等ニ付キ熱心ナル質疑應答ガアリ、又間接税ニ付キマシテハ、斯ノ如キ大幅ノ増徴ヲ行フヲ要スル現下ノ情勢ニ於テハ、郵便料金ニ付テモ亦相當程度ノ引上ヲナスベキデハナイカ、砂糖ハ業務用ト家庭用トヲ區別シテ、業務用ニ重キ負擔ヲ課スルヲ適當トシナカドウカト云フ質疑ガアツタノデアリマス、之ニ對シマシテ政府ハ、ソレゾレ慎重ニ考究ヲ致シタイト云フ旨ノ答辯ガアリマシタ

更ニ最後ニ希望的ノ意見ト致シマシテ、本案ニ依ル大増税ハ平年度ニ於テ直一千五百万圓デアルガ、來ル通常議會ニ於テ直接税ガ又提案セラレル、其ノ總額ハ現在ノ六億三千五百万圓以上ダト云フコトハ大藏大臣ノ言明デアリマス、隨テ國民ハ眼前ニ於テ、稅ノミヲ以テシテ而モ十三億以上ノ負擔ヲ負ハネバナラスト云フコトハ最早必至ノ狀況デアリマス、現下ノ狀況ニ照シマシテハ此ノ負擔ハ必ズシモ國民ニ輕イト申スコトハ出來ナイカモ知レマセヌ、併シナガラ國民ノ氣持ハ、東亞ノ大業ヲ達成スルガ爲ニト云フ考ヘニ於キマシテ、恐ラクハ國民ハ喜ビ勇ンデ此ノ負擔ニ堪ヘルアラウ(拍手)隨テ此ノ場合ニ於テハ政府モ能ク此ノ國民ノ氣持ヲ知ツテ居ツテ貴ヒタ、國民ガ斯ルノ如キ増税ニ對シテ欣然トシテ之ヲ負擔スル、其ノ國民ノ氣持ヲ能ク政府ガ知ツテ居ツテ貴ヒタ(拍手)政府ノ態度モ亦隨テ此

ノ國民ノ氣分ニ對應スルモノニアツテ欲シイ、政府ノ增税理由ヲ見マスルト、國民ノ消費ヲ抑ヘ、購買力ヲ吸收スル、無形ノ國民精神ノ緊張、生活態様ノ刷新マデモ税ニ依ツテヤルト云フ如キ表現ガアルノデアリマスケレドモ、是ハ恐ラクハ技術上ノ問題デアリマセウ、國民ノ氣分ハ、東亞ノ大業ヲ達成スルガ爲ニ税ヲ負擔シテ行カウト云フソデアリマス、此ノ氣分ヲ知ツテ、政府ハ國民ニ文句ヤ理窟ヲ言ハナイデ、能ク國民ト氣分ヲ一體ニシテ、此ノ大業ヲ達成シテ貰ヒタイモノデアルト云フノガ希望的ノ意見デアツタノデアリマス

更ニ本委員會ニ付託セラレマシタ第一ノ案、即チ昭和十二年法律第八十四號中改正案ハ、支那事變ニ關スル臨時軍事費支辨ノ爲公債發行ニ關スル法律ノ改正案デアリマシテ、臨時軍事費ニ付キマシテハ、第七十二議會ヨリ第七十六議會ニ至ルマデ毎議會、其ノ財源ニ充ツル爲ノ公債ヲ發行スル權能ヲ此ノ法律デ得テ居ツタノデアリマスガ、今回更ニ臨時軍事費三十八億圓ノ追加計上ヲ必要ト致シマスル所、其ノ所要金額中、二億二千九百九十九萬圓ハ一般會計及び特別會計ヨリノ繰入金等ヲ以テ之ヲ賄ヒマシテ、其ノ不足致シマスル三十五億七千餘万圓ヲ公債財源ニ求ムル爲ニ、昭和十二年法律第八十四號ニ規定スル公債ノ發行限度法定額百九十九億四千九百万圓ヲ二百六十六億九百萬圓ニ改正セントスル案デアリマス

又今一つノ付託セラレタ案件、即チ昭和三年法律第二十三號中改正法律案ハ、關

東局、朝鮮總督府、臺灣總督府及び樺太廳

ノ各特別會計ニ於ケル租稅收入ノ一部ニ相

當スル金額等ヲ臨時軍事費特別會計ニ繰入

ルルコトニ關スル法律ノ改正案デアリマシ

テ、此ノ法律ニ依リ、從來外地會計ヨリ、

本法ニ規定スル租稅收入、又ハ煙草專賣收

入ノ一部ヲ臨時軍事費特別會計ニ繰入ルル

コトニナツテ居リマスガ、今回新タニ朝鮮總督府特別會計ニ於ケル酒稅、朝鮮總督府、臺灣總督府及び樺太廳ノ各特別會計ニ於ケル骨牌稅ノ昭和十六年度以降ノ增徵ニ因ル增收額、臺灣總督府特別會計ニ於ケル遊興飲食稅ノ創設ニ因ル收入額並ニ朝鮮總督府及ビ臺灣總督府ノ兩特別會計ニ於ケル今回ノ煙草定價改正ニ因ル專賣收入增加額ノソレヽ一部ニ付テモ、之ヲ臨時軍事費特別會計ニ繰入ルルコトニ致シマス爲メ、昭和十三年法律第二十三號中所要ノ改正ヲナサントスルノデアリマスガ、此ノ二件ニ關シ

異議アリマセヌカ

○副議長(田子一民君) 依光好秋君 直チニ三案ノ第一讀會ヲ開

キ、第三讀會ヲ省略シテ委員長報告ノ通り可決セラレシト望ミマス

○副議長(田子一民君) 御異議ナシト認メマス、仍テ三案ノ第二讀會ヲ開クニ決シマス

シタ

○副議長(田子一民君) 依光好秋君 直チニ三案ノ第一讀會ヲ開

キ、第三讀會ヲ省略シテ委員長報告ノ通り可決セラレシト望ミマス

○副議長(田子一民君) 御異議ナシト認メマス、仍テ直チニ三案ノ第二讀會ヲ開キ、

議案全部ヲ議題ト致シマス

斯ク致シマシテ本日午前質疑ヲ終了致シ、午後三案ヲ一括シテ討論ニ入りマシタ

シ、
案(關東局、朝鮮總督府、臺灣總督府及樺太廳ノ各特別會計ニ於ケル租稅收

入ノ一部ニ相當スル金額等ヲ臨時軍事費特別會計ニ繰入ルルコトニ關スル件)

採決ニ入り、三案ヲ一括シテ原案賛成ノ諸

○副議長(田子一民君) 三案ノ第一讀會ヲ開クニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ

○副議長(田子一民君) 三案ノ第一讀會ヲ開

キ、第三讀會ヲ省略シテ委員長報告ノ通り可決セラレシト望ミマス

○副議長(田子一民君) 御異議ナシト認メマス、仍テ三案ノ第二讀會ヲ開クニ決シマス

シタ

○副議長(田子一民君) 依光好秋君 直チニ三案ノ第一讀會ヲ開

キ、第三讀會ヲ省略シテ委員長報告ノ通り可決セラレシト望ミマス

○副議長(田子一民君) 御異議ナシト認メマス、仍テ直チニ三案ノ第二讀會ヲ開キ、

議案全部ヲ議題ト致シマス

斯ク致シマシテ本日午前質疑ヲ終了致シ、午後三案ヲ一括シテ討論ニ入りマシタ

シ、
案(關東局、朝鮮總督府、臺灣總督府及樺太廳ノ各特別會計ニ於ケル租稅收

入ノ一部ニ相當スル金額等ヲ臨時軍事費特別會計ニ繰入ルルコトニ關スル件)

採決ニ入り、三案ヲ一括シテ原案賛成ノ諸

○副議長(田子一民君) 三案ノ第一讀會ヲ開

キ、第三讀會ヲ省略シテ委員長報告ノ通り可決セラレシト望ミマス

○副議長(田子一民君) 御異議ナシト認メマス、仍テ三案ノ第二讀會ヲ開クニ決シマス

シタ

○副議長(田子一民君) 依光好秋君 直チニ三案ノ第一讀會ヲ開

キ、第三讀會ヲ省略シテ委員長報告ノ通り可決セラレシト望ミマス

○副議長(田子一民君) 御異議ナシト認メマス、仍テ直チニ三案ノ第二讀會ヲ開キ、

議案全部ヲ議題ト致シマス

斯ク致シマシテ本日午前質疑ヲ終了致シ、午後三案ヲ一括シテ討論ニ入りマシタ

シ、
案(關東局、朝鮮總督府、臺灣總督府及樺太廳ノ各特別會計ニ於ケル租稅收

入ノ一部ニ相當スル金額等ヲ臨時軍事費特別會計ニ繰入ルルコトニ關スル件)

採決ニ入り、三案ヲ一括シテ原案賛成ノ諸

○副議長(田子一民君) 三案ノ第一讀會ヲ開

キ、第三讀會ヲ省略シテ委員長報告ノ通り可決セラレシト望ミマス

○副議長(田子一民君) 御異議ナシト認メマス、仍テ三案ノ第二讀會ヲ開クニ決シマス

シタ

○副議長(田子一民君) 依光好秋君 直チニ三案ノ第一讀會ヲ開

キ、第三讀會ヲ省略シテ委員長報告ノ通り可決セラレシト望ミマス

○副議長(田子一民君) 御異議ナシト認メマス、仍テ直チニ三案ノ第二讀會ヲ開キ、

議案全部ヲ議題ト致シマス

斯ク致シマシテ本日午前質疑ヲ終了致シ、午後三案ヲ一括シテ討論ニ入りマシタ

シ、
案(關東局、朝鮮總督府、臺灣總督府及樺太廳ノ各特別會計ニ於ケル租稅收

入ノ一部ニ相當スル金額等ヲ臨時軍事費特別會計ニ繰入ルルコトニ關スル件)

採決ニ入り、三案ヲ一括シテ原案賛成ノ諸

○副議長(田子一民君) 三案ノ第一讀會ヲ開

キ、第三讀會ヲ省略シテ委員長報告ノ通り可決セラレシト望ミマス

○副議長(田子一民君) 御異議ナシト認メマス、仍テ三案ノ第二讀會ヲ開クニ決シマス

シタ

○副議長(田子一民君) 依光好秋君 直チニ三案ノ第一讀會ヲ開

キ、第三讀會ヲ省略シテ委員長報告ノ通り可決セラレシト望ミマス

○副議長(田子一民君) 御異議ナシト認メマス、仍テ直チニ三案ノ第二讀會ヲ開キ、

議案全部ヲ議題ト致シマス

斯ク致シマシテ本日午前質疑ヲ終了致シ、午後三案ヲ一括シテ討論ニ入りマシタ

シ、
案(關東局、朝鮮總督府、臺灣總督府及樺太廳ノ各特別會計ニ於ケル租稅收

入ノ一部ニ相當スル金額等ヲ臨時軍事費特別會計ニ繰入ルルコトニ關スル件)

採決ニ入り、三案ヲ一括シテ原案賛成ノ諸

○副議長(田子一民君) 三案ノ第一讀會ヲ開

キ、第三讀會ヲ省略シテ委員長報告ノ通り可決セラレシト望ミマス

○副議長(田子一民君) 御異議ナシト認メマス、仍テ三案ノ第二讀會ヲ開クニ決シマス

シタ

○副議長(田子一民君) 依光好秋君 直チニ三案ノ第一讀會ヲ開

キ、第三讀會ヲ省略シテ委員長報告ノ通り可決セラレシト望ミマス

○副議長(田子一民君) 御異議ナシト認メマス、仍テ直チニ三案ノ第二讀會ヲ開キ、

議案全部ヲ議題ト致シマス

斯ク致シマシテ本日午前質疑ヲ終了致シ、午後三案ヲ一括シテ討論ニ入りマシタ

シ、
案(關東局、朝鮮總督府、臺灣總督府及樺太廳ノ各特別會計ニ於ケル租稅收

入ノ一部ニ相當スル金額等ヲ臨時軍事費特別會計ニ繰入ルルコトニ關スル件)

採決ニ入り、三案ヲ一括シテ原案賛成ノ諸

○副議長(田子一民君) 三案ノ第一讀會ヲ開

キ、第三讀會ヲ省略シテ委員長報告ノ通り可決セラレシト望ミマス

○副議長(田子一民君) 御異議ナシト認メマス、仍テ三案ノ第二讀會ヲ開クニ決シマス

シタ

○副議長(田子一民君) 依光好秋君 直チニ三案ノ第一讀會ヲ開

キ、第三讀會ヲ省略シテ委員長報告ノ通り可決セラレシト望ミマス

○副議長(田子一民君) 御異議ナシト認メマス、仍テ直チニ三案ノ第二讀會ヲ開キ、

議案全部ヲ議題ト致シマス

斯ク致シマシテ本日午前質疑ヲ終了致シ、午後三案ヲ一括シテ討論ニ入りマシタ

シ、
案(關東局、朝鮮總督府、臺灣總督府及樺太廳ノ各特別會計ニ於ケル租稅收

入ノ一部ニ相當スル金額等ヲ臨時軍事費特別會計ニ繰入ルルコトニ關スル件)

採決ニ入り、三案ヲ一括シテ原案賛成ノ諸

○副議長(田子一民君) 三案ノ第一讀會ヲ開

キ、第三讀會ヲ省略シテ委員長報告ノ通り可決セラレシト望ミマス

○副議長(田子一民君) 御異議ナシト認メマス、仍テ三案ノ第二讀會ヲ開クニ決シマス

シタ

○副議長(田子一民君) 依光好秋君 直チニ三案ノ第一讀會ヲ開

キ、第三讀會ヲ省略シテ委員長報告ノ通り可決セラレシト望ミマス

○副議長(田子一民君) 御異議ナシト認メマス、仍テ直チニ三案ノ第二讀會ヲ開キ、

議案全部ヲ議題ト致シマス

斯ク致シマシテ本日午前質疑ヲ終了致シ、午後三案ヲ一括シテ討論ニ入りマシタ

シ、
案(關東局、朝鮮總督府、臺灣總督府及樺太廳ノ各特別會計ニ於ケル租稅收

入ノ一部ニ相當スル金額等ヲ臨時軍事費特別會計ニ繰入ルルコトニ關スル件)

採決ニ入り、三案ヲ一括シテ原案賛成ノ諸

○副議長(田子一民君) 三案ノ第一讀會ヲ開

キ、第三讀會ヲ省略シテ委員長報告ノ通り可決セラレシト望ミマス

○副議長(田子一民君) 御異議ナシト認メマス、仍テ三案ノ第二讀會ヲ開クニ決シマス

シタ

○副議長(田子一民君) 依光好秋君 直チニ三案ノ第一讀會ヲ開

キ、第三讀會ヲ省略シテ委員長報告ノ通り可決セラレシト望ミマス

○副議長(田子一民君) 御異議ナシト認メマス、仍テ直チニ三案ノ第二讀會ヲ開キ、

議案全部ヲ議題ト致シマス

斯ク致シマシテ本日午前質疑ヲ終了致シ、午後三案ヲ一括シテ討論ニ入りマシタ

シ、
案(關東局、朝鮮總督府、臺灣總督府及樺太廳ノ各特別會計ニ於ケル租稅收

入ノ一部ニ相當スル金額等ヲ臨時軍事費特別會計ニ繰入ルルコトニ關スル件)

採決ニ入り、三案ヲ一括シテ原案賛成ノ諸

○副議長(田子一民君) 三案ノ第一讀會ヲ開

キ、第三讀會ヲ省略シテ委員長報告ノ通り可決セラレシト望ミマス

○副議長(田子一民君) 御異議ナシト認メマス、仍テ三案ノ第二讀會ヲ開クニ決シマス

シタ

○副議長(田子一民君) 依光好秋君 直チニ三案ノ第一讀會ヲ開

キ、第三讀會ヲ省略シテ委員長報告ノ通り可決セラレシト望ミマス

○副議長(田子一民君) 御異議ナシト認メマス、仍テ直チニ三案ノ第二讀會ヲ開キ、

議案全部ヲ議題ト致シマス

斯ク致シマシテ本日午前質疑ヲ終了致シ、午後三案ヲ一括シテ討論ニ入りマシタ

シ、
案(關東局、朝鮮總督府、臺灣總督府及樺太廳ノ各特別會計ニ於ケル租稅收

入ノ一部ニ相當スル金額等ヲ臨時軍事費特別會計ニ繰入ルルコトニ關スル件)

採決ニ入り、三案ヲ一括シテ原案賛成ノ諸

○副議長(田子一民君) 三案ノ第一讀會ヲ開

キ、第三讀會ヲ省略シテ委員長報告ノ通り可決セラレシト望ミマス

○副議長(田子一民君) 御異議ナシト認メマス、仍テ三案ノ第二讀會ヲ開クニ決シマス

シタ

○副議長(田子一民君) 依光好秋君 直チニ三案ノ第一讀會ヲ開

キ、第三讀會ヲ省略シテ委員長報告ノ通り可決セラレシト望ミマス

○副議長(田子一民君) 御異議ナシト認メマス、仍テ直チニ三案ノ第二讀會ヲ開キ、

議案全部ヲ議題ト致シマス

斯ク致シマシテ本日午前質疑ヲ終了致シ、午後三案ヲ一括シテ討論ニ入りマシタ

シ、
案(關東局、朝鮮總督府、臺灣總督府及樺太廳ノ各特別會計ニ於ケル租稅收

入ノ一部ニ相當スル金額等ヲ臨時軍事費特別會計ニ繰入ルルコトニ關スル件)

採決ニ入り、三案ヲ一括シテ原案賛成ノ諸

○副議長(田子一民君) 三案ノ第一讀會ヲ開

キ、第三讀會ヲ省略シテ委員長報告ノ通り可決セラレシト望ミマス

○副議長(田子一民君) 御異議ナシト認メマス、仍テ三案ノ第二讀會ヲ開クニ決シマス

シタ

○副議長(田子一民君) 依光好秋君 直チニ三案ノ第一讀會ヲ開

キ、第三讀會ヲ省略シテ委員長報告ノ通り可決セラレシト望ミマス

○副議長(田子一民君) 御異議ナシト認メマス、仍テ直チニ三案ノ第二讀會ヲ開キ、

議案全部ヲ議題ト致シマス

斯ク致シマシテ本日午前質疑ヲ終了致シ、午後三案ヲ一括シテ討論ニ入りマシタ

シ、
案(關東局、朝鮮總督府、臺灣總督府及樺太廳ノ各特別會計ニ於ケル租稅收

入ノ一部ニ相當スル金額等ヲ臨時軍事費特別會計ニ繰入ルルコトニ關スル件)

採決ニ入り、三案ヲ一括シテ原案賛成ノ諸

○副議長(田子一民君) 三案ノ第一讀會ヲ開

キ、第三讀會ヲ省略シテ委員長報告ノ通り可決セラレシト望ミマス

○副議長(田子一民君) 御異議ナシト認メマス、仍テ三案ノ第二讀會ヲ開クニ決シマス

シタ

○副議長(田子一民君) 依光好秋君 直チニ三案ノ第一讀會ヲ開

キ、第三讀會ヲ省略シテ委員長報告ノ通り可決セラレシト望ミマス

○副議長(田子一民君) 御異議ナシト認メマス、仍テ直チニ三案ノ第二讀會ヲ開キ、

議案全部ヲ議題ト致シマス

斯ク致シマシテ本日午前質疑ヲ終了致シ、午後三案ヲ一括シテ討論ニ入りマシタ

シ、
案(關東局、朝鮮總督府、臺灣總督府及樺太廳ノ各特別會計ニ於ケル租稅收

入ノ一部ニ相當スル金額等ヲ

ノ堪へ得ル所デナイ（拍手）計數的ニ打算的ニ考ヘレバ、中間商人ヲ除イタコトガ農民ノ爲ノヤウデアルガ、日本ノ農民精神ハ斯様ナ殘虐ヲ好マナイノデアル（拍手）斯様ナ御質問ガ樋口君カラ出マシタ、是ハ洵ニ一ツノ些細ナ例デハゴザリマスルガ、政治ノ局ニ當ラル諸君ハ斯様ナ國民性ノ機微ヲ擗ムコトガ最大切ナコトデナケレバナシテ、直チニ左様ナコトハ改革ヲ致シマスト云フ言明ヲ得マシタ、唯一ツノ例ナガラ、リマセス（拍手）農林大臣カラハ此ノ點ニ對上ノ論議ヲシテ、實際ノ國民性ヲ忘ルルコトガアツテハナラスト云フコトヲ此ノ際一言附加ヘテ置ク次第デゴザリマス（拍手）

最後ニ、現下ノ決戦狀態ニアル我ガ國ニ於ケル食糧對策ニ付キ、十六米穀年度ハ幸ヒニシテ國民ノ緊張ニ依ツテ何等心配ナク過スコトヲ得マシタガ、十七米穀年度ニ於テハ、此ノ難局ニ處シテ如何ナル事態が生ジテモ、絕對ニ國民ノ食糧ニ對シテ心配方ナイカドウカト云フコトヲ確カメタノニ對シテ、本日農林大臣ハ立ツテ、幸ヒニシテ十六年度ノ過剩持越高ハ豫想以上ニ増額致シマシタ、本年ノ米穀豫想ハ、第一回豫想ヨリハ天候等ノ加減ニ依ツテ多少減ルト思ヒマスルガ、如何ニ減リマシテモ、今日ノ國民ノ此ノ緊張シタ精神ヲ以テ貫徹シテ貰フ來ナクテモ、絕對ニ心配ハナイト云フコトヲ言明サレマシタ（拍手）幸ヒニシテ十七米

穀年度ニ於テ外米ガ順調ニ、豫定通り入ツテ參リマスルナラバ、是ダケハ將來ニ處シテ貯藏スルダケノ餘裕ヲ持ツ計畫ニナツテ居ルト云フコトヲ言明致サレマシタ(拍手)詳細ハ速記録ニ依ツテ御覽ヲ願ヒタイノデアリマス

討論ニ入りマシテ、高橋圓三郎君、森幸太郎君、平野力三君ノ三君ヨリ、何レモ其ノ團體ヲ代表シテ賛成ノ演説ガアリ、採決ノ結果満場一致ヲ以テ兩案トモ成立致シマシタ、此ノ段御報告ヲ申上ダマス(拍手)

○副議長(田子一民君)　兩案ノ第二讀會ヲ開クニ御異議アリマセヌカ

〔「異議ナシ」と呼ブ者アリ〕

○副議長(田子一民君)　御異議ナシト認メマス、仍テ兩案ノ第二讀會ヲ開クニ決シマシタ

○依光好秋君　直チニ兩案ノ第二讀會ヲ開キ、第三讀會ヲ省略シテ委員長報告ノ通り可決セラレンコトヲ望ミマス

○副議長(田子一民君)　依光君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

〔「異議ナシ」と呼ブ者アリ〕

○副議長(田子一民君)　御異議ナシト認メマス、仍テ直チニ兩案ノ第二讀會ヲ開キ議案全部ヲ議題ト致シマス

昭和九年法律第二十九號中改正法律案
(米穀需給調節特別會計案法中改正法律案)
第一讀會(確定議)
臺灣米穀移出管理特別會計法ノ特例ニ
關スル法律案
第一讀會(確定議)

○副議長(田子一民君) 別ニ御發議モアリ
マセヌ、第三讀會ヲ省略シテ、兩案トモ委員
長報告通り可決確定致シマシタ(拍手)
此ノ際委員會ノ開會ニ付キ申上ゲマス、
建議委員ノ諸君ハ本日午後三時半ヨリ委員
會ヲ開會シ、審査セラレンコトヲ望ミマス
コトヲ望ミマス

○副議長(田子一民君) 依光君ノ動議ニ御
異議アリマセヌカ

〔「異議ナシ」と呼ブ者アリ〕

○副議長(田子一民君) 御異議ナシト認メ
マス、仍テ暫時休憩致シマス

午後三時九分休憩

午後五時十三分開議

○議長(小山松壽君) 休憩前ニ引續キ會議
ヲ開キマス、先刻ノ宮澤胤勇君ノ演説ニ付キ、
宮澤君ヨリ「委員長報告ニ贊成セントスル
モノデアリマス」ノ後ノ演説全部ノ取消ノ
申出ガアリマシタ、議長ハ宮澤君ノ申出ヲ
許可致シマシタ

○依光好秋君 議事日程追加ノ緊急動議ヲ
提出致シマス、即チ此ノ際政府提出、產業
設備營國法案ヲ議題トナシ、委員長ノ報告
ヲ求メ、其ノ審議ヲ進メラレンコトヲ望ミ
マス

○議長(小山松壽君) 依光君ノ動議ニ御異
議アリマセヌカ

〔「異議ナシ」と呼ブ者アリ〕

○議長(小山松壽君) 御異議ナシト認メマ
ス、仍テ日程ハ追加セラレマシタ——産業
設備營團法案ノ第一讀會ノ續ヲ開キマス、
委員長ノ報告ヲ求メマス——委員長横川重
次君

產業設備營團法案(政府提出)
第一讀會ノ續(委員長報告)
報告書

一產業設備營團法案(政府提出)

右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致
候此段及報告候也

昭和十六年十一月十九日

委員長 横川 重次

(横川重次君登壇)

衆議院議長小山松壽殿

○横川重次君 只今議題ト相成リマシタ產
業設備營團法案ノ委員會ノ經過竝ニ結果ヲ
極メテ簡單ニ御報告申上ゲマス、本案ハ現
下ノ時局ニ對應致シマシテ、國家緊要產業
ノ設備ノ中ニ、其ノ事業者ニ於テ建設又ハ
維持スルコトガ著シク困難ニ相成リマシタ
モノ、ソレヲ此ノ營團ガ代リマシテ建設ヲ
シ、買取り、又之ヲ他ニ貸與シ、乃至バ出
資ヲ致スト云フ事柄ガ一つ、又他方ニ於キ
マシテハ未動遊休設備ヲ更ニ時局目的達成
ノ爲ニ活用維持、或ハ整理ノ爲ニ賣買保有
等ノ業務ヲ行ハシムル爲ニ、全額政府出資
ニ係ル特殊法人產業設備營團ヲ設立セント
スルモノニアリマス、本營團ハ全額政府出
資デアリマスルガ、其ノ額ハ二億圓デゴザ
イマス、尙ホ其ノ外ニ本營團ト致シマシテ、

資本金額ノ五倍ノ債券ノ發行ヲ認メラレテ
居リマス、即チ十億圓デアリマシテ、之ヲ
合計致シマスト十二億圓ガ本營團ノ資金ト
相成ルノデゴザイマス

委員會ニ於キマシテハ、各委員カラ極メ
テ熱心ナル質疑ガ行ハレマシテ、之ニ對シ
政府亦適切ナル答辯ヲ行ツタノデゴザイマ
ス、今極メテ重要ナル一、三ノ點ダケヲ申上
ゲタイト思ヒマスルガ、本法案ノ對象デア
リマスル所ノ未動遊休設備ノ現在ノ高ニ付
キマシテハ、是ハ色々議論ガゴザイマシテ、
相當多額ニ上ツテ居ルノデゴザイマス、政
府ニ於テハ進ンデ是ガ發表ヲセラレタノデ
アリマスルガ、政府ノ發表ニ依リマスルト、
三十五億圓程度アルト云フコトデゴザイマ
ス、質疑ノ第一ト致シマシテ、其ノ事業計
畫ノ内容ハドウデアルカト云フコトニ付キ
マシテ、政府ハ此ノ未動遊休設備ノ中デ三
四億圓ニ當リマスルモノヲ本營團ニ於テ買
取り保有ヲ致シマシテ、更ニ二億六千万
圓程度ヲ整理業致シマス、更ニ十四、五億
圓程度ノモノヲ當業者ヲシテ保有致サセマ
シテ、殘リノ二億數千万圓ハ他ニ轉用活用
スル考ヘデアルト答辯ガアツタノデゴザイ
マス

第二ニ斯様ナ質問ガアリマシタ、即チ重
點主義生産デアルトカ、產業ノ再編成デア
ルトカ、斯様ナ問題ハ最早議論ノ餘地ノナ
イコトデアリマシテ、一二實行ニ俟ツベキ
デアル、是ガ爲ニハ本營團ノ設置ダケデハ、
ドウシテモ其ノ效力ヲ期待スルコトハ不十
分デハナイカ、斯様ナ質問ニ對シマシテ、
政府ニ於キマシテハ、本營團ハ現在ノ各種

ノ産業促進ノ機關ト互ニ手ヲ取り合ツテ進
ム考へデアル、即チ統制會等ニ於キマスル
今後ノ運營ニ當リマシテモ、又資金ノ計畫
ニ致シマシテモ、十分此ノ營團ト手ヲ取り
合ヒマシテ緊密一體トナツテ行クノデアル
カラシテ、若シ將來ニ於キマシテ、此ノ資
金計畫等ニ於テ不足ヲ告ゲルヤウナコトガ
アリト致シマスルナラバ、是ハ更ニ追加考
慮ノ餘地ガアルト云フ答辯デゴザイマシタ
更ニ又、各種營業ノ免許制ヲ考慮スル考
へハナイカ、又更ニ、此ノ整理統合ヲ徹底
サセル爲ニハ強權ヲ發動スルコトモ必要デ
アルト思フガ、政府ノ用意ハドウデアルカ、
斯様ナ質疑ニ對シマシテ、政府ハ營業ノ免
許制ニ付キマシテハ既ニ其ノ用意ガアツ
テ、近ク企業許可令及び企業勤員令ノ審議
及ビ準備ヲ進メツツアル旨ヲ言明セラレタ
ノデアリマス、又強權ノ發動ニ對シマシテ
モ、政府ハツレハ並行的ニ準備ヲ致シテ
居ルト云フ旨ヲ答辯セラレタノデゴザイマ
ガアツタノデゴザイマス

「ショーン」ヲ醸成スルヤウナ危惧ハナイカト
云フ質問ニ對シマシテ、政府ハ、ソレ等ノ
コトノナキヤウニ十分注意ヲシテヤツテ行
キタイ、而モ此ノ營團ノ條文ノ中ニ、其ノ
支拂ヒマシタル所ノ國債證券乃至ハ金錢ノ
處分ニ對シマシテ必要ナル指示ヲ爲シ得ル
ト云フコトノ條項ガアルノデアリマスガ、
此ノ必要ナル指示ト申シマスルモノハ、ソ
レ等金融政策ノ中ニ於キマシテ、所謂「イ
ンフレーション」等ノ虞ナキヤウニ適當當ナ
ル處置ヲヤツテ行キタイ、斯様ナ趣旨デア
ルノデゴザイマス。

尙ほ勞務動員計畫其ノ他各般ニ亘リマシ
テ熱心ナル質疑ガアツタノデゴザイマスル
ガ、詳細ハ疎記録ニ於テ御承知ヲ願ヒマシ
テ、唯最後ニ委員長カラ委員會ノ大體ノ意
向ヲ體シマシテ三項ノ質疑ヲ行ヒ、商工大臣
藏當局ノ意見ヲ求メタノデアリマス、其
ノ第一ヘ、本營團ノ事業ニ付キ今後運營上必
要ヲ認メタルトキハ、本營團ニ於テ投資、
融資ヲモ認ヌルヲ至當ナリト思フガ、之ニ
對スル大藏當局ノ所見如何、是ガ第一項デ
アリマス、之ニ對シテ大藏次官ヨリ斯様ナ
答辯ガアツタノデアリマス、本營團ノ對辯
タル緊要產業其ノ他一般事業金融ノ敏活ヲ
圖ル爲ニハ政府ハ萬全ヲ期シテ居ルノデアリ
ルガ、本團ノ投資、融資ニ付テモ將來ノ推
移ニ鑑ミ、凹凸ノ情勢ヲ考慮シテ善處シタ
イト云フ旨ノ答辯ガアツタノデアリマス
其ノ二ハ、一般企業ノ整理合同ニ際シ、
清算所得、登錄等ニ付キ税ノ減免ヲナス法
案ヲ次ノ議會ニ提案シ、茲ニ其ノ際ニ於テ
ハ減免稅ノ期日ヲ遡及スルコトガ當然ト思

ハレルノデアルガ、政府ノ所見ハドウデアルカ、尙ホ又轉廢業個人ノ實績課稅ニ付シテモ、其ノ稅ノ減免ニ付キ政府ハ考慮スル意圖ナリヤ否ヤ、是ガ第二項デゴザイマシテ、之ニ付キマシテハ、清算所得ノ場合モ個人ノ轉廢業ノ場合モ、政府ニ於テ十分考慮スル考ヘデアルト云フ満足スペキ答辯ガアツタノデゴザイマス

第三ハ、營團ノ役員人選ニ付テハ十分慎重ヲ期シ、役職員ノ待遇ニ付テハ經理統制令ノ趣旨ニ依ルベキハ勿論、其ノ監督ノ歸ニシ、尙ホ刑罰法規ヲ設クルヲ適當ト思フガ、政府ノ所見如何、之ニ對シテハ商工當局ヨリ致シマシテ、其ノ御趣旨ニ副フヤウニ考ヘテ行クト云フ是亦満足スベキ御答辯ガアツタノデアリマス、又大藏當局ヨリハ、經理統制令ノ趣旨ニ合スルヤウニ十分ナル監督ヲシテ行キタイト云フ、是亦満足スペキ御答辯ガアツタノデアリマス

之ニ依リマシテ全部ノ質疑ヲ了シテ、討論ニ入リマシテ、鶴惣市君竝ニ岡崎久次郎君ヨリ原案賛成ノ御意見ノ開陳ガアリマシテ、採決ニ入り、全會一致原案ノ通り可決致シタノデアリマス、此ノ段委員會ノ經過結果ヲ簡略ニ御報告申上ダマス、何卒全會一致御賛成アランコトヲ御願ヒ申上ゲマス（拍手）

○議長（小山松壽君） 本案ノ第二讀會ヲ開クニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ

○議長（小山松壽君） 御異議ナシト認メマス、仍テ本案ノ第二讀會ヲ開クニ決シマス

○依光好秋君 直チニ本案ノ第二讀會ヲ開キ、第三讀會ヲ省略シテ、委員長報告ノ通り可決セラレントラ望ミマス

○議長(小山松壽君) 依光君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼ブ者アリ〕

○議長(小山松壽君) 御異議ナシト認メマス、仍テ直チニ本案ノ第二讀會ヲ開キ、議案全部ヲ議題ト致シマス

産業設備營團法案 第二讀會(確定議)

○議長(小山松壽君) 別ニ御發議モアリマセヌ、第二讀會ヲ省略シテ、委員長報告ノ通り可決確定致シマシタ(拍手)

○依光好秋君 此ノ際暫時休憩セラレントラ望ミマス

○議長(小山松壽君) 依光君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

○議長(小山松壽君) 休憩前ニ引續キ會議ヲ開キマス、議員宮澤胤勇君ヨリ辭表ガ提出セラレマシタ、之ニ付キ御詰リ致シタイト思ヒマス、先づ其ノ辭表ヲ朗讀致サセマス

午後五時二十八分休憩
午後六時五十六分開議
○議長(小山松壽君) 休憩前ニ引續キ會議ヲ開キマス、議員宮澤胤勇君ヨリ辭表ガ提出セラレマシタ、之ニ付キ御詰リ致シタイト思ヒマス、先づ其ノ辭表ヲ朗讀致サセマス

〔書記官朗讀〕
辭職願
私儀
今般都合ニ依リ衆議院議員ヲ辭任致シ度候間御許可相成度此段願上候也
昭和十六年十一月十九日
衆議院議員 宮澤 胤勇

○議長(小山松壽君) 議員辭職願ノ許否ハ、衆議院規則第百六十八條ニ依リマシテ、討論ヲ用ヒズシテ決スルノデアリマス、採決致シマス、宮澤胤勇君ノ辭職ヲ許可スルニ御異議ハアリマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼ブ者アリ〕

○議長(小山松壽君) 御異議ナシト認メマス、仍テ許可スルニ決シマシタ——是ニテ議事日程ハ議了致シマシタ、明二十日ハ會議期終了日デアリマス、午後一時ヨリ本會議ヲ開キマス、議事日程ハ公報ヲ以テ通知致シマス、本日ハ是ニテ散會致シマス

午後六時五十八分散會

衆議院議事速記録第三號中正誤

貢 段 行 誤 四三 一 三四一三 「モソーロ」 「モンロー」 正

官報號外 昭和十六年十一月二十日 衆議院院會事速記錄第四號

六〇